

一人につき2項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページ及び録画配信をご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



▲市議会HP



▲録画配信
(2月25日一般質問)



街路

わが まさよし
和賀 正義 議員 (MIRAI)

商店会連合会の街路灯の今後は

答弁…新規での防犯灯設置が現実的である

問 210基ある商店会街路灯は、地域の防犯灯としての役割も果たしている。商店会会員数は年々減少傾向にある中、負担金の増額が決定。街路灯は、撤去費用も高額で、持続的な管理が困難である。廃業後の街路灯を防犯灯として利活用し、支援する考えはあるか。

答 防犯灯は、東京電力等の電柱に設置することが原則であるため、商店会の街路灯を防犯灯として活用することは難しく、新規で防犯灯を設置することが現実的である。今後、防犯灯に移行する際は、関係機関と連携を図り、円滑に手続きが進むよう支援していく。



商店会連合会街路灯

福祉 移動スーパーによる
買い物支援の継続を

答弁…市内を網羅した販売となるよう調整する

問 日常の買い物に不安を抱える市民が増える中、移動スーパーは民間事業のため採算が取れなければ撤退せざるを得ない。市は、継続的な買い物支援をどのように考えるか。特に、沖山地区や大山地区の市民に対する支援についてはどうか。

答 運営会社に対し、収益性だけでなく公共性に重点を置いた運営と移動スーパーの地域における役割の再確認を促し、できる限り市内を網羅した移動販売となるよう調整していく。また、買い物等の在り方については、「高齢者福祉事業推進委員会」で検討する。



発信

てらど むつこ
寺戸 睦子 議員 (真風)

シラオ仮面を活用した市の魅力発信を

答弁…調査研究を進める

問 観光施設とのコラボレーションによるシラオ仮面ぬいぐるみの販売について、市を盛り上げ、さらに、収益にもつなげるための取組を推進してはいかがか。

答 贈呈用ぬいぐるみの一般販売は予定していないが、効果的なグッズ展開や民間企業等による販売方法について調査研究を進める。今後も、関係団体との連携やSNS発信、イベント参加を通じてシラオ仮面を活用し、市の知名度向上と魅力発信に努めていく。



シラオ仮面ぬいぐるみ

交通 “のりあい交通進化版”の導入を

答弁…LINE予約の導入を検討していく

問 ①のりあい交通について、年代別利用者数などの現状を伺う。

②LINEを活用したスマホ予約を可能とする“のりあい交通進化版”導入について、市の方針を伺う。

答 ①年間運行日数293日、延べ利用者数17,890人となっており、80代以上の利用が約半数を占めている。60代以上は生活関連施設、50代以下は駅への利用が多い。インターネットでの予約割合は約10%である。

②導入について積極的に検討していく。



▲録画配信
(2月25日一般質問)